



先生方の読み聞かせ

学校では、11月11日～29日の間、読書旬間(今中ブックフェス)が開催されており、期間中は「今中図書館マンガ選挙」、「読書でピンゴ」、「おすすめ本の紹介」、「図書館 DE ミッケ」など図書委員会を中心に楽しみながら読書意欲を高める取り組みが行われています。その一環として、11月26日(火)の朝の読書の時間では、各学級で事前にくじで決められた先生方による読み聞かせが行われました。他学年の先生などが、それぞれに準備した絵本の読み聞かせや本にまつわる内容のお話、歌を歌うような内容もあり、生徒の皆さんも楽しい朝の読書の時間を過ごせたと思います。



読書教育の充実

本には様々な分野のものがああり、子どもの様々な興味・関心に応じてくれます。読書の習慣が身につくと、知識が身につく読解力を向上させるとともに、「生きる力」の基になる考える力、感じる力、想像(創造)する力、表現する力等を育てられます。そして、話題が豊かになりコミュニケーション力が高まる、楽しい時間を過ごすことができる、実際に体験できないことが関節体験できる、先人の考え方や人生観に触れることができるなどの良さもあります。しかし、現在、教育課題として、子どもの学力や体力などに続いて読書活動が挙げられ、特に中学生、高校生で一か月に一冊も本を読まない生徒が多くなっているようです。どのようにしたら読書を楽しめるようになるか、今後も学校全体で考えていきたいと思ひます。